

令和6年度事業計画

円安の大幅な進行は、RASA—Japanの事業推進に過去にないような大きな試練を与えそうな状況である。昨年の今頃の為替相場は1ドル132円レベルであった。それが154円後半の水準にまで円安が進みご支援いただいている会員・賛助会員の会費、通常の寄付者の皆様方のレベルをはるかに超越しきっている現状ではドル相場の展開を見ているだけにしか過ぎない。

1) 学校建設

当初計画では令和6年度の学校建設は多少の円安は見込めていたので、学生ボランティアの参加も見込んで計画していたが、急激な円安が追い打ちをかけてきた状況となった。

このことを背景にして現地のブラカン市とともに共同した学校建設を令和6年度の事業に取り込もうとしたが財政難を抱えており現地の地方自治体も財政にゆとりがなく断念した。

2) ボランティア派遣事業

昨年度の事業計画で令和6年にむけてボランティア派遣事業を再開する予定であった。

しかし、今日の為替相場が極端に円安に振れてボランティアを派遣する学校建設事業は現地との協議の結果令和6年は見送りとなった。したがって今年度のボランティア派遣事業は栄養障害児童向けの食品配布事業のみが対象となる。

この事業の詳細は5月7日からのサウスビル・ワン小学校との協議で明確にされることになった。

3) 食品配布

年間予算・・・350万円限度